

氏名	三 谷 恭 夫
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	甲 第 3 3 8 号
学位授与の日付	昭和45年3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系耳鼻咽喉科学専攻 (学位規則第5条第1項該当)
学位論文題目	高原氏病に出現する口腔壊疽についての実験的研究 第1編：肺炎双球菌により惹起された家鴨口蓋粘膜病変 の組織学的研究 第2編：無カタラーズ血症血液および正常人血液に対 する過酸化水素産生菌の作用
論文審査委員	教授 渡辺義男 教授 緒方正名 教授 田中早苗

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

無カタラーズ（以下「カ」と略す）血症の一部に高原氏病を形成するものがある。本論文は高原氏病の成因を「カ」を有さず、しかも H_2O_2 を菌体外に産出する口腔内常在菌の面より追求した。即ち、無「カ」血症者の血液及び口腔粘膜の「カ」量に最も近似している家鴨の口蓋粘膜下に H_2O_2 産生菌を注射し肉眼的にも顕微鏡的にも高原氏病に酷似した病変を作ること成功した。

次に、 H_2O_2 産生菌が産出する H_2O_2 が「カ」活性の低い家鴨又は無「カ」血症者と、対照として「カ」活性の正常な家兎又は正常人の各血液の HbO_2 に及ぼす影響について automatic recording spectrophotometer (Beckman DK-2) を用いて追求すると共に Mills の方法で MetHb 濃度をも測定した。その結果「カ」活性が低い家鴨血液及び無「カ」血症血液では対照に比べ HbO_2 が容易に変化し、MetHb が多量に蓄積した。これらの事実から MetHb 成生によって当該組織が O_2 不足に陥ることが高原氏病発症機序の1つになると推測される。

論文審査の結果の要旨

本研究は、家鴨を用いて実験的に、高原氏病に出現する口腔壊疽を作ることに成功し、更に本症の壊疽の発症機序の解明に関して、重要な知見を得たものとして、価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。